

八碁連だよ

令和6年8月号
第394号



八幡八雲神社（元横山町）

発行日 令和6年8月1日(木)

発行所 八王子囲碁連盟

住所 八王子市長房町 506-13

電話 042-667-1500

発行者 澤田 信夫

編集者 荒畑 昭一



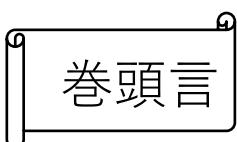
<https://hachigoren.com>

八王子囲碁連盟

検索

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。



卷頭言

私の八王子



中野囲碁同好会 望月 肇士

職場の友人が、会社を辞めて、本屋をかわきりに、喫茶店、クリーニング店、飲み屋と拡げ、碁会所まで始めました。そこでの大会に誘われて、初段で参加せよといわれ囲碁を楽しんでいましたが、負け続きでした。55才の時「囲碁研究」を購読しました。その後、磯部さんに誘われて、中野囲碁同好会への入会、三浦浩元アマチュア本因坊宅での指導碁を受けるなどして、現在に至っています。最近は中野囲碁同好会と小町さんが開催しているサークルで遊んでいます。そこに八王子市の名称に大変係わり深い方のお孫(栗澤)さんがおられまして、勝ったり負けたりしています。

八王子に来て、50年近くになります。八王子について調べた事を紹介します。万葉集（仁徳天皇～淳仁天皇）に“多摩の横山”（八王子の旧名）と歌われていました。国の制度を設定した大化改新（645）時、八王子は武藏の国多摩郡の中に存在していました。武藏の国は府中が国府となり、22の郡に編成され、その中に多摩郡がありました。

八王子地方は由比牧（馬の産地）と呼ばれ、小野氏が支配していました。小野が改姓し、横山氏を名乗ります。

源頼朝は江戸太郎重長に武藏の国、本領安堵を許し、重長の家臣に横山党が存在していました。1213年、北条と和田の戦いがおこり、和田（配下に横山党）が負けました。その時300年続いた横山党が滅亡し、その後、大江広元の次子が長井を名乗り、片倉を本拠としていました。長井は関東管領上杉の配下で、上杉は1546年川越夜戦で北条に降伏します。その結果、八王子は北条氏照に治められていましたが、秀吉の小田原攻めで北条氏照は滅亡します。徳川の時代にはいり、大久保長安等徳川の家臣によって治められていました。

明治になり、八王子は神奈川県第9区に属していました。明治11年11月、町名を決めることとなり、横山宿（横山宿、八幡宿、本郷宿、久保宿、島の坊宿、上の原宿、本宿、馬乗宿、子安宿、横町、新町、寺町、小門宿、千人町、元本郷村、新横山村、子安村）としていたものを、千人隊の一人、栗澤八三郎が町田付近で、追い着き「八王子」に変えました。その後多摩地区で民権運動が盛んとなり、明治26年神奈川県から東京府に移りました。

（神奈川県知事が民権運動に嫌気をさし、放り出したのかな？）

大正6年（1917年）市制施行に伴い、同年12月に「市制制定」されました。昭和16年（1941年）には小宮町（大和田、中野、宇津木、石川、小宮、高倉）を併合、昭和30年 横山村、元八王子、恩方村、川口村、加住村等6村の編入、昭和34年 浅川村、昭和39年 由木村の編入で現在の八王子となりました。

「八王子名称の由来」

坊さんの大伴妙行が元八王子の深沢に庵を結び修行をしていました。ある日、夢の中で一頭大蛇が出てきて、その頭を一喝し「汝は何者ぞ」問うと、白髪の老翁に変わり、八人の童子をひきつれて、“私は牛頭天王じや、伴っているのは、私の子供達八人だ。私はこの地方の主、わしと子供達八人をこの地に祭りこんでくれるならば、永遠にこの地方の幸福と安全を護る。”と語ったのが八王子の

由来だそうです。

理事会議事録（抄）

令和6年度 第3回理事会 議事録

日時：令和6年6月22日（土曜日） 9時から12時

場所：大横保健福祉センター 第1会議室

出席者：澤田会長・浅川（議事録作成）・木村・荒畑・棚原・小西各理事

会長報告

- ・6月12日、八王子市教育委員会から子ども大会の教育長賞の賞状に印鑑を頂いた。
- ・6月14日、子ども大会の参加者募集の締め切りで参加者30名。
19路盤 2名 13路盤 8名 9路盤 20名
- ・6月20日、八王子文化連盟の会議に出席した。



各理事報告

- ・子ども大会の参加賞を30個準備した。
- ・子ども大会の本部・来賓・受付（A～C）等の垂れ幕を作成した。
- ・第6回多摩地区市町対抗囲碁団体戦出場者選出（案）の基本を策定した。
 1. 最大限、各同好会から出場して頂く。
 2. 本年、浅川・恩方・元八王子同好会で開催された活きいき大会の入賞者を優先に選出する。
 3. 大会のチーム構成条件のシニア（75歳以上）、女子、子供（中学生以下）各1名以上のメンバー構成を考慮する。

尚、当日の指導碁は各地区2名と少ないが、各同好会の会長に出場希望者を募集する。

- ・八碁連だより（8月号）の予定記事は、「巻頭言」（中野）、子ども大会の結果、8月24日、府中市市民会館で開催される第6回多摩地区市町対抗囲碁団体戦の選出メンバーリスト、級位認定大会のお知らせ等を掲載予定。

- ・子ども大会参加者が決まったので、9路盤・13路盤・19路盤別に武中会長と連携を取って八碁連イス方式対戦表を作成する。
- ・前期会費納入（6月末）を地区同好会に依頼し、今日現在で6地区同好会から納入された。
- ・次回以降の理事会は東浅川保健福祉センターで開催する。
- ・7月は、7月27日（土）、8月は多摩地区対抗団体戦が8月24（土）にあるため8月17日（土）に開催する。
- ・9月は28日（土）で場所は確保した。
- ・9月15日に開催する級位認定の場所は、東浅川保健福祉センターを確保した。

議案討議事項

- ① 研修部から、前期の大会に研修部以外からも参加者を募りたいとの要請があった。
理事会として、研修部以外からの参加を認めない、大会は2回／年とすることで研修部に回答をすることにした。
- ② 子ども大会の役割分担について、
参加者の人数がほぼ確定したので、会長作成の案をたたき台に検討。
9路盤は1回戦15分で6回戦・13路盤は1回戦20分で4回戦。
子どもが楽しく、気持ちよく対局できるように競技委員を多めにする。
19路盤の対局は参加者2名の為、50分/局で3局戦う。先に2勝すれば終了する。三段と7級で、10位の差があるが、八碁連規約に基づき、置石は7子とする。
- ③ 宮崎中野会長から生きいき大会の競技委員の派遣要請の問い合わせがあり、隔年開催に変更したが、以前からの順番を踏襲するようにした。
中野同好会の次は大和田同好会であり、競技委員の派遣は大和田同好会に要請する。
持ち回りの道具の保管も大和田同好会にお願いする（期間が長くなるが、保管して頂くよう要請する。）
- ④ 八碁連HPについて、会員拡大に向け魅力あるHPを作成するために、プロジェクトを結成し議論を深める。

次回理事会は 7月 27日 (土曜日) 9:00~12:00

場所 東浅川保健福祉センター

お知らせ



昨年の多摩地区市町対抗囲碁団体戦

★第6回多摩地区市町対抗囲碁団体戦八王子代表選手決まる

令和6年度第6回多摩地区市町対抗囲碁団体戦が開催されます。

本大会は、「多摩地域囲碁ファンのコミュニティ交流と世代間交流」及び「女性の参加、子ども達の健全育成」を目的として開催されます。

(本年の開催要領)

日 時 2024年8月24日 (土) 9:30~17:30

場 所 府中市市民会館「ルミエール」

参加チーム 26市2町代表 (28チーム) により競われます。

1チーム 9人制で、主将～9将まで、有段者からシニア (75歳以上)、女性、子どもを含めた混合チームとなります。

選手選出に当たっては、本年の大会の入賞者を中心に、八碁連と地区同好会が中心となって選手の選出がなされました。(以下の通りです。)

区分	氏名	所属(同好会)	備考
団長	浅川 武二三	長房	八碁連副会長
主将(無差別)	小川 浩二	南大沢	
副将(無差別)	金本 好正	石川	
3将(四段～六段)	相澤 秀一	浅川	
4将(三段～五段)	井上英次郎	中野	
5将(二段～四段)	清水 守	恩方	

6将(初段～三段)	巻淵 正治	石川	
7将(1級～二段)	上出 有紗	一般	
8将(級位者)	多田 泰子	恩方	女性枠
9将(級位者)	清水 純一	長房	
補欠	棚原 英治	元八王子	



★ 第 11 回八王子市子ども囲碁大会終了

日時：6月30日（日）

会場：八王子市東浅川保健福祉センター 4階

主催：八王子囲碁連盟

開会式（教育長のご挨拶）

参加資格 八王子市内の小学校、中学校に在籍している生徒

今年の参加者は、昨年より多い30名となりましたが、父兄や関係者なども応援にかけつけ、熱戦が繰り広げられました。

開会式では、八王子市から安間教育長、東浅川保健福祉センター富山館長も来賓として出席され、子どもの囲碁教育の必要性や激励の言葉を頂きました。

対局は、10時から開始され、9路盤、13路盤、19路盤に分かれ、真剣な面持と一方で楽しそうな笑顔いっぱいの中で進みました。

子ども大会は、対局の終了が早く、競技委員も“もう、終わったの？”と忙しい時間です。表彰式では、優勝者の表彰の後、級位認定状の授与や参加賞を配り、満足げに会場を後にしました。参加賞は、お菓子の詰め合わせでした。

“俺のアメ、一個少ねー”袋を開けながらにぎやかなひと時でした。

優勝者

9路盤（21名） 赤井 利穂（浅川小学校、4年生）

13路盤（7名） 浅井 咲風（浅川中学校、1年生）

19路盤（2名） 上出 有紗（片倉台小学校、3年生）



熱戦中・・

日本棋院八王子連支部コーナー

1. 第8回級位認定囲碁大会のご案内

日時	令和6年9月15日（日）9時20分受付	昨年の対局中スナップ
場所	東浅川保健福祉センター 4F	
主催	日本棋院八王子囲碁連盟支部	
共催	八王子囲碁連盟	
後援	公益財団法人 日本棋院	
競技方法	クラス別、スイス方式の4回戦	
表彰	各クラス共、3勝1敗以上で1階級昇級とし、認定状を発行する。 また、7級以下で4勝したときは2階級昇級とする。	
特典	成績優秀者には賞品を進呈する。	
参加費	1,000円（昼食代含む）	
申込先	南 正一郎 TEL・FAX 663-5446	
Eメール	sminami0003@yahoo.co.jp (各同好会で一括して申し込み下さい。)	
締切	9月1日（日）	皆様の多数の参加をお願いします。



★研修部例会（東浅川保健福祉センター4F）

8月：8月10日（土）、8月17日（土）、8月24日（土）

9月：9月14日（土）、9月21日（土）、9月28日（土）

※9月21日（土）研修部主催囲碁大会を予定しています。

★入門初心者教室日程（東浅川保健福祉センター3F）

8月：8月10日（土）、8月17日（土）、8月24日（土）

9月：9月14日（土）、9月21日（土）、9月28日（土）

★第32回生きいき中野大会が開催される

本年度最後の生きいき大会（中野同好会）が開催された。

大会結果は、次号（9月号）にてお知らせ致します。

◆開催日：令和6年7月28日（日）

◆受付：午前9時10分開始

◆会場：中野市民センター tel 042-627-6221

【編集後記】

今年も8月2日（金）～4日（日）まで、祭り好きにはたまらない、「八王子祭り」がやってきた。東の八幡八雲神社（元横山町）と西の多賀神社（元本郷町）の祭りを統合し山車巡行が盛大に行われる。

八王子祭りは、「山車祭り」であり、関東有数の規模と圧倒する山車の彫刻、加えて千貫神輿との競演は、（およそ3トンの重量を延べ1600人で担ぎ）今や全国に知れ渡り、80万人が訪れると言う。

八王子祭りは、江戸時代からの歴史があり、今も江戸の香りが漂い、江戸庶民の心意気を引き継いでいる。日頃の江戸っ子は、長屋に住んで物売りし、（花、魚、シジミ、アメ菓子等を）、大工、左官などの職人は、手間賃400～500文／日を稼ぎ（今なら月収入10万円を切る程度か）、それで一家が生計を立てていたようである。

江戸っ子にとっても、祭りは生活の一部、お祝いし、買い物し、観客になり、担ぎ手となって、楽しさを満喫する。わっと騒いで、そして日常をリセットする。これが「お祭り」の醍醐味である。祭りを「遊び日」としていた江戸っ子の気持ちが分かる。

まわりの出店、屋台にも、今と変わらぬ、すし屋、水屋、焼イカ、てんぷら、そば、団子や、ほお



すきなどが並び、家族ずれで楽しむ光景が目に浮かぶ。江戸風情をタイムスリップして想像してみると、また面白い。（S.A）

八幡八雲神社の渡御